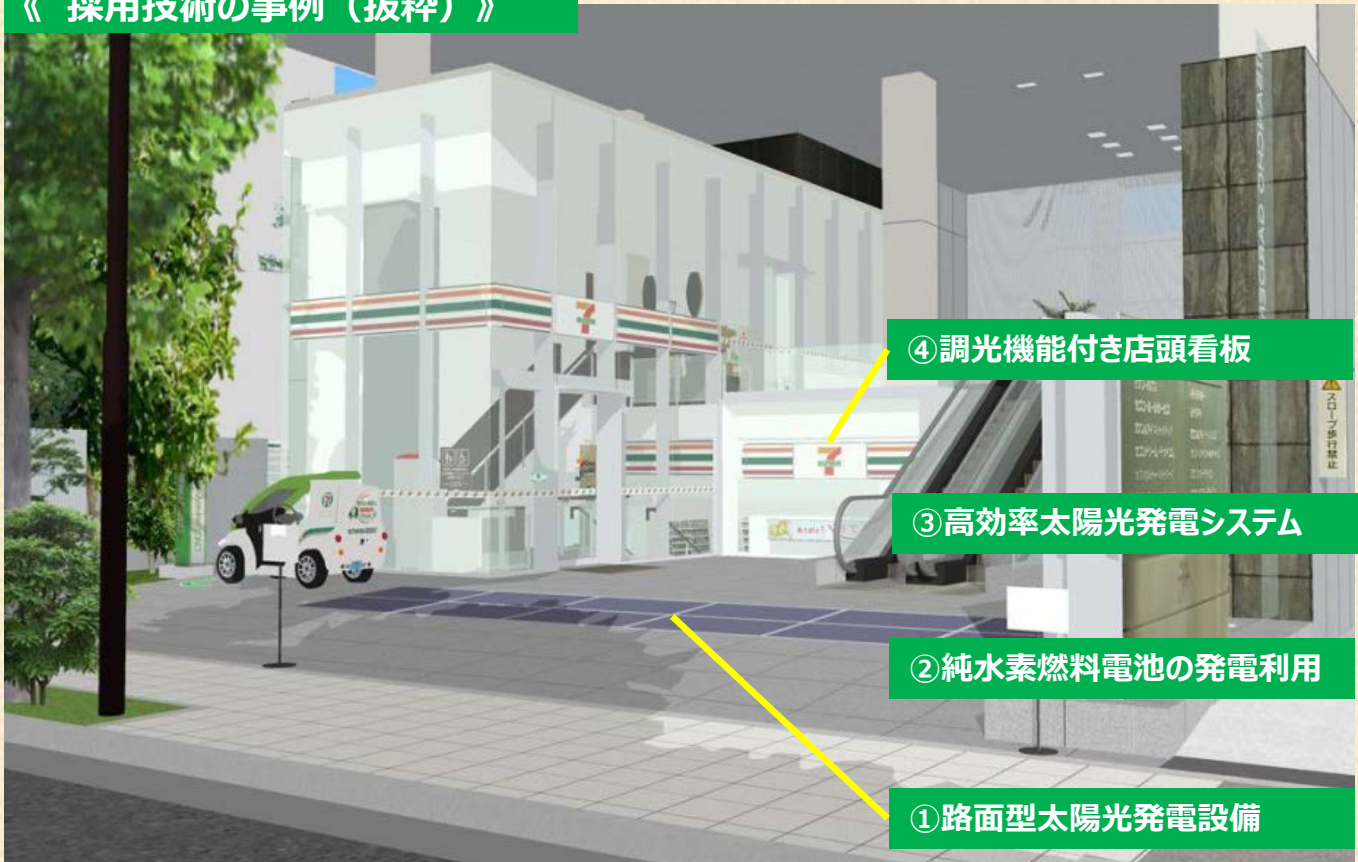


「ひとと環境にやさしい店舗」として開店 「セブン-イレブン千代田二番町店」

環境負荷低減、働きやすさ向上、快適な店内環境づくりをテーマに新技術を採用

《 採用技術の事例（抜粋） 》



2017年12月7日（木）に全面改装後再開店した「セブン-イレブン千代田二番町店」は、国内外の様々な分野を代表する企業様より、「環境負荷の低減」「働きやすさの向上」「快適な店内環境づくり」をテーマとした技術や設備をご提案いただき、それらを結集した『ひとと環境にやさしい店舗』となっています。今回の取り組みによって、店舗全体の外部調達電力を約 28 %削減※1 することが可能となり、対象設備に関連する作業時間を1日あたり約5.5時間※2 削減することができるようになりました。

セブン-イレブンでは、環境への負荷を低減できる設備の導入や、従業員が働きやすい環境の整備、「近くて便利」なお店づくりを通じ、広く社会的課題への対応を進めてまいります。

※1：標準店舗に設置した場合の換算、2013年度比

※2：平均的な店舗環境において、従来のあるべき手順で作業を実施した場合と比較した計算値

「ひとと環境にやさしい店舗」として開店 「セブン-イレブン千代田二番町店」

～ 採用技術の事例（抜粋）～

①路面型太陽光発電設備 提供：コラス社（ブイググループ）アジア初導入

- ◆床面に高透過性・高耐久性のあるコーティングを施した太陽光パネルを設置。
- ◆フランスの大手建設「ブイグ」グループの「コラス社」による路面太陽光発電設備『WATTWAY by Colas』を採用。アジアにおける採用は初。



②純水素燃料電池の発電利用 提供：岩谷産業(株) CVS初導入

- ◆水素ガス容器から配管を經由し、水素を燃料電池に供給、発電するシステム。水素ボンベ1本で約8時間発電が可能。
- ★24時間稼働時発電量約12,264kWh/年
(2013年標準店舗使用電力の約8.8%相当)



③高効率太陽光発電 提供：三井物産プラントシステム(株)

- ◆現行でセブン-イレブン店舗に導入している標準パネルと比べ、発電能力が約102%と高効率な太陽光発電パネルを採用。★発電量約11,424kWh/年
(2013年標準店舗使用電力量の約8.2%相当)



④自動調光機能付店頭看板 提供：三協立山(株) タテヤマアドバンス社

- ◆店頭看板の照明にタイマー管理の自動調光機能を付加。
- ◆段階的な調光により、使用電力量を削減。
- ★使用電力量約286kWh/年削減
(同店舗の改装前比)



上記以外にも**38 社様**からご提案をいただいた58種の技術による設備を採用しており、試用、検証を踏まえ、可能なものから全国の店舗への拡大を検討してまいります。



関連情報

(株)セブン-イレブン・ジャパン ホームページ
<http://www.sej.co.jp>